

# 鹿児島のものづくり

幕末期に発揮された、集成館事業に代表される薩摩の技術力の高さ。その詳細な背景については、これまでも多くの研究者によって議論されてきましたが、特に近年の研究の成果で、より生き生きとした集成館事業の様子や、関連した様々な技術についても明らかになってきました。今回はいち早くそれらの研究に取組まれてこられた先生お二人にご登壇いただき、この地で培われてきた”ものづくり”についてお話いただきます。

- 日時：2009年12月10日(木)18:00-19:30(予定)
- 会場：鹿児島市役所みなと大通り別館6階会議室
- 定員：60人 \*定員に達し次第締め切らせていただきます。
- 内容：「薩摩のものづくり研究の歩み—集成館事業の技術を中心に—」  
講師：長谷川 雅康 先生（鹿児島大学教育学部教授）  
「集成館溶鋳炉跡の発掘成果」  
講師：渡辺 芳郎 先生（鹿児島大学法文学部教授）
- 申込：12月9日(水)までに下の連絡先まで、お名前・参加希望人数などをお知らせください。  
かごしま探検の会 099-227-5343

このセミナーは、平成21年度鹿児島県共生・協働企画公募推進事業「近代化産業遺産普及啓発・地域づくり事業」の一環として行うものです

NPO法人 まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会  
〒892-0821 鹿児島市名山町3-9  
TEL&FAX 099-227-5343  
E-mail info@tankennokai.com  
URL <http://twww.tankennokai.com>